

# 出土した道具 1

野々市市内では、守護所とがし富樫館跡を中心に、周囲には中世の集落遺跡が広がっており、発掘調査では、



数多くの茶碗などの茶道具や、花瓶、香炉けびょう こうろが見つっています。

茶道において、最も重要な道具とされる茶碗は、栗田遺跡や、三日市 A 遺跡などから出土しています。

中国製の茶碗は唐物茶碗からものちやわんと呼ばれ、鎌倉時代から室町時代にかけて流行します。国内では瀬戸・美濃窯せとみので、黒い鉄釉のかかった天目茶碗てんもくちやわんが多く焼かれました。



◀ 出土時の中国製青磁碗と染付碗(栗田遺跡)

これらの唐物茶碗でお茶をたしなんでいたのかもしれませんが。